

A.出雲古代文化関係

書籍名	発行年	収録内容
古代文化研究 第6号	98	【論文・報告書】「出雲大社の宝治・慶長・寛文度造営頃の境内建築の復元について」「前田遺跡出土琴の復元」「丹花庵古墳の測量調査」「鯛淵寺境内銅造阿弥陀如来像について」「平成9年度島根県古代文化センター調査研究年報」「出雲国風土記」註論その三」「風土記参詣記」その一」「島根県八東郡穴道町、大坪三家の系譜と人物略歴」「古代の出雲と宗像」「復活した大元神楽」「時憲歴の頒布と欽天監における西洋人官僚の登用について」「国引き神話の再検討」「国引き神話の史実を追う」
古代文化研究 第7号	99	【論文・報告書】「出雲・猪目洞穴出土の人骨」「夏季特別展に関連する普及活動について」「明末における中国と太平洋ガレオン船貿易」「平成10年度調査研究年報」「出雲国風土記」註論その四」「風土記参詣記」その二
古代文化研究 第8号	00	【論文・報告書】「土器の色調と胎土分析」「General observations Do su ki kieu(Porcelain Made according to order and fixed patterns)during the Le-Trinh and the Nguyen periods」「山陰地方分銅形土製品集成」「島根県(出雲・石見・隠岐)古代史料目録Ⅱ」「出雲国風土記」註論その五」「出雲と大原」「平成11年度調査研究年報・事業動向」
古代文化研究 第13号	05	【論文・報告書】「浜田市鯛石遺跡出土遺物」「古墳時代の垂飾付耳飾の復元技術について」「出雲地域における飛鳥・奈良時代集落について」「御柱祭の柱立と祇園祭鉦立」「出雲の狛犬について(2)」「白石昭臣氏を悼む」「墓上施設の現在」「天倫寺所蔵書画典籍類調査報告」「近世期石見銀山における生産資材の調達とそのシステム」「出雲国風土記写本の調査(2)」「古代出雲国『朝酌市』の景観について」「出雲風土記と水鳥」「平成16年度調査研究年報・事業動向」
古代文化研究 第14号	06	【論文・報告書】「山陰地方における墳丘墓出土土器の検討」「島根県かわらけ谷古墳から出土した金銅装双龍環頭大刀飾りの鉛同位体比」「出雲市馬木町小坂古墳出土鉄手刀の再検討」「韓国における製鉄遺跡研究の現状と課題」「島根県松江市山津遺跡における花粉分析」「島根県東部における中世墓の様相」「狩猟採集民の精神と権力」「全国各地を廻遊する医者について」「中世・出雲国杵築の宗教者による政治経済活動」「岩屋寺日本尊十一面観音坐像」「古代祭祀空間関係史料集成」「出雲国風土記写本の調査(3)」「八世紀前期の郡司任用と『新造院』」「朝酌促戸の釜漁について」「平成17年度調査研究年報・事業動向」
古代文化研究 第15号	07	【論文・報告書】「青銅器模倣品出土地集成」「島根県内玉作遺跡より出土する紅廉石片製内磨砥石の石材産出地の検討」「出雲大社并神郷園」に用いた顔料について」「石西地域の二つの中世大般若経について」「出雲の狛犬について(3)」「入江文郎の二枚紙の在留学生名簿」についての考察」「資料紹介『長征石見戦争簡書』」「天保五年当時の華岡家『春林軒』における医学修業の実態について」「出雲国風土記写本の調査(4)」「『倭名類聚抄』所載『神稻(代)郷』についての一考察」「古代祭祀空間関係史料集成(2)」「天平年間成立当初の『出雲国風土記』について」「平成18年度調査研究年報・事業動向」
古代文化研究 第19号	11	【論文・報告書】「人間活動からみた島根県の縄文時代遺跡と地域社会」「夷征論—倭国軍事考 第三章」「出雲風土記」の里程と穴道郷三石記事に現れた『古韓尺』」「出雲市萩塚古墓出土品の再検討」「伯耆における15世紀代の土師器皿」「島根・富田川河床遺跡の研究(4)」「旧阿部家住宅発見の『福面の図』」「和鋼博物館所蔵倭国」「有角石器出土地集成」「山陰から畿内への道(2)」「山口県阿武郡北東部の『石州集』について」「資料調査 出雲国風土記写本の調査(8)」「松江藩立漢医学校『存濟館』の医学教育カリキュラムについて」「賀茂別雷神社領石見国久永庄についての一考察」「平成22年度調査研究年報・事業動向」
古代文化研究 第20号	12	【論文・報告書】「鳥取県における縄文時代遺跡と遺跡群分析の一誌論」「松江市美保関町・小浜洞穴遺跡の出土遺物」「出雲平野における弥生時代後期の集落について」「松江市島田1号墳出土遺物の再整理(上)」「安来市新宮堂館跡出土の陶磁器」「救済譜録」所収島根県関係中世史料目録」「石見銀山絵巻」上野家本について(1)」「島根県宍道町役場日誌にみる空襲とその時代」「戦前期の伯耆大山におけるツーリズム空間の生成」「小河内神楽考」「金屋子神社所蔵『鉢山係清浄簿』」「資料調査 出雲国風土記写本の調査(9)」
古代文化研究 第21号	13	【論文・報告書】「浜田市古市遺跡について(1)」「天然砥石の種類・産地推定法に関する一考察」「軍兵論—倭国軍事考 第四章」「石見銀山絵巻」上野家本について(2)」「水門と潮一干拓以前の波根湖の環境誌にむけて」「鳥取県地方紙に見る空襲とその時代(島根県に関連して)」「大正期の石見における流通関係史料」「古代出雲西部の神社と交通」「神郡神戸と出雲大神宮・於友評」
古代文化研究 第22号	14	【論文・報告】「出雲地方における前期古墳について」「石見国那賀郡の近世末から近代のたたら製鉄」「天然砥石の種類・産地推定法に関する一考察」「華岡家門人錦織玄道が筆写した『華岡清洲先生 門人姓名録』について」「和鋼博物館所蔵大鍛冶関係資料の調査」「石見銀山「柵之内」の推定復元」「瀧を経営する」「島根県における空襲とその時代」「石見民衆の道中記」「史料紹介『杵築大社御本社御造営算用帳』」「賀茂別雷神社領石見国久永庄についての一考察(2)」「評制の史的前提と史的意義に関する覚書」「資料調査 出雲国風土記写本の調査(10)」「出雲国風土記写本二題」「平成25年度調査研究年報・事業動向」
しまねの古代文化 第18号	11	【講演録】第10回神在月古代文化シンポジウム「神々の姿の変遷」 【講演録】第26回古代文化講座「神話と歴史学—国譲り神話とくにびき神話を中心に—」
しまねの古代文化 第19号	12	【講演録】第27回古代文化講座「後醍醐天皇と中世中世の隠岐」 【講演録】第11回神在月古代文化シンポジウム「出雲神話の成立と背景—国譲り神話の謎—」
しまねの古代文化 第20号	13	【講演録】第28回古代文化講座「本州西端域の縄文文化」 【講演録】第29回古代文化講座「旧石器人が恋した隠岐の黒曜石」
しまねの古代文化 第22号	15	【講演録】出雲国風土記シンポジウム「古代出雲の実像」 【講演録】島根県古代文化センターシンポジウム「よみがえる古代からのメッセージ—木簡が語る古代社会の実像—」 【資料集成】・因幡国・伯耆国関係古代木簡集成 ・都城出土の隠岐国の荷札木簡集成

書籍名	発行年	収録内容
しまねの古代文化 第23号	16	【講演録】第11回隠岐国巡回講座「伝承された中世芸能 -美田八幡宮の田楽-」 【講演録】第5回石見国巡回講座「波根湖がうつした近代 -汽水湖をめぐる暮らしと文化-」 【講演録】古代文化シンポジウム「中世益田平野の景観と益田氏」 平成27年度に行われた隠岐・石見に関する講座・シンポジウムを収録した記録集。
しまねの古代文化 第24号	17	【講演録】古代出雲文化シンポジウム「古代国家はいかにして成立したか-出雲と蝦夷・東国-」 【講演録】島根学講座in大阪第3講「後醍醐天皇の隠岐配流と日本海流通」 【講演録】第9回石見国巡回講座「喜阿弥焼の周辺-民窯と民芸運動」 平成28年度に開催したシンポジウム・講座を収録した記録集。
古代文化叢書 5 (朝山皓論集Ⅱ)	99	出雲国風土記研究、神社史などで優れた業績を残した朝山皓の論文集「出雲風土記の動物」等収録。付録「出雲國地図」。
古代文化叢書 6 (朝山皓論集Ⅲ)	00	朝山皓の神在祭等祭礼や神葬祭について諸論文を収録。
出雲国風土記の研究 Ⅲ (資料編)	06	神門水海北辺の歴史景観復元研究の成果を満載。風土記研究を進める歴史研究者及び国文学・考古学研究者必見。
出雲国風土記の研究 Ⅳ (資料編)	12	『出雲国風土記』に記された神門水海南辺地域の資料の集積。
山陰地方の縄文社会(CD版)	14	「山陰の縄文社会」印刷本の付録CD。内容は印刷本と同じです。
日本海沿岸の潟湖における景観と生業の変遷の研究(古代文化センター研究論集 第15集)	15	日本海沿岸に多く点在し、またかつてあった紫雲寺潟(新潟)や河北潟(石川)、波根湖(島根)などの「潟湖」についての最新の成果をまとめた研究論集。特に北陸・山陰地域の「潟湖」周辺の景観と生業の変遷を、考古学や歴史学、地理学、地質学など多分野の観点によってわかりやすくまとめている。「日本海沿岸の潟湖の概要」を【資料集成】として整理している。
古代祭祀と地域社会(古代文化センター研究論集 第16集)	16	古代祭祀の実態にせまる、最新の研究成果をまとめた論文集。「古代の神々と神社制度」、「風土記の神々と地域社会」、「古代神社の建築」、「古代出雲の祭祀世界」の4部構成からなる。古代の人々は神をどのような存在ととらえ、どのように祭ったのか。古代出雲はなぜ「神々の国」と考えられたのか。祭祀考古学・古代史研究の第一人者による書き下ろし論文10本を掲載。A4版200ページ。
平塚運一古代瓦コレクション 資料集(1)	08	版画家・故平塚運一氏収集の古代瓦コレクションのうち、武蔵国分寺軒丸瓦の調査報告書。
平塚運一古代瓦コレクション 資料集(2)	11	平成11年に平塚氏の御遺族から寄贈等を受けた古代瓦コレクションのうち、武蔵国分寺関連の字瓦についての報告書。
志谷奥遺跡出土青銅器群の研究(古代文化センター調査研究報告書54)	17	志谷奥遺跡から出土した銅鐸2口・銅剣6本の、保存修理後の再調査(凶化等)報告。鉛同位体比分析の成果を新たに掲載している。
出雲藍板締めへの復元研究	08	全国で唯一確認されている江戸時代後期の染色『出雲藍板締め』資料の特色と復元染色研究の成果をまとめた貴重本。
古代出雲ゼミナール	14	平成25年度に東京、大阪、松江で開催した連続講座の記録集です。全国で唯一ほぼ完本として残る『出雲国風土記』や数多くの青銅器最新の研究成果からみえる古代出雲の魅力とは？第一線で活躍する7名の研究者によるルー講座がこの1冊に
古代出雲ゼミナールⅡ	15	平成26年度に東京、大阪、松江で開催した連続講座の記録集です。『古事記』『日本書紀』『出雲国風土記』研究の進展や考古学的な発見により次第に明らかになる古代出雲像。三浦佑之氏、森田喜久男氏など古代出雲研究の第一人者7名による講座を分かりやすくまとめた記録集の第2弾です。
古代出雲ゼミナールⅢ	16	古代出雲ゼミナールシリーズの第3弾です。今回は松江・大阪・東京で開催した連続講座だけでなく、2016年7月に東京都内で開催した「出雲国風土記シンポジウム」の様子を収録し、より多彩な内容となっています。

書籍名	発行年	収録内容
解説 出雲国風土記	14	『出雲国風土記』全文の現代語訳を掲載し、多くの写真、図を交えて、親しみやすい構成としています。 重要なポイント127項目については、最新の研究成果をふまえた解説をくわえ、19のコラムを読み物として掲載しています。難解な語句には注釈や巻末に「用語解説」をつけています。 『出雲国風土記』を知り、学ぶテキストとして最適です。別刷りの「出雲国風土記地図」付きです。

写真集 出雲国風土記紀行	17	「国引き神話の世界」、「神話と伝承」、「出雲の原風景」、「出雲びとの営み」の4章で構成。風土記登場地を中心に46ヶ所を厳選して、その豊かな景観と魅力を紹介。 全ての項目についてプロカメラマンが撮影した情感あふれる写真をメインに据える。また、風土記本文や古代文化センターによる分かり易い解説、さらには撮影地点マップも掲載。
--------------	----	---

B.歴史の道関係

歴史の道調査報告書 第5集 山陰道Ⅲ	97	近世の山陰道のルートの確定と街道周辺の文化財をまとめた秀作。
歴史の道調査報告書 第6集 津和野	98	津和野藩の参勤交代や領内の往来に使われた歴史の道について解説。
歴史の道調査報告書 第7集 隠岐	98	産業発展の基礎となった西廻り航路を解説。
歴史の道調査報告書 第8集 穴道・尾道	98	山陰と山陽を結び重要な役割を果たした穴道尾道街道を解説。
歴史の道調査報告書 補遺編	99	5年間の調査の集大成、その後の新知見を紹介。

C.八雲立つ風土記の丘周辺関係

風土記の丘地内遺跡発掘調査報告書10	94	山代郡南新造院(四王寺)跡発掘調査報告。
史跡出雲国府跡 3	05	平成15・16年度の報告書。主要南北道路にかかる石積側溝と橋部材が発見されている。
史跡出雲国府跡 5	08	平成18年度の堂田地区の調査報告書。「十字街」から国府への進入路の想定線上で道路遺構が確認された。 また昭和43～45年度調査結果についても併せて収録している。
史跡出雲国府跡 6	09	史跡出雲国府跡宮の後地区、国司館の一角を調査。平安時代前期の建物跡、溝跡のほか、下層から性格不明の井桁状遺構を検出した。1968～1970年度調査、1972～1974年度環境整備事業の補遺と再検討をあわせて収録。
史跡出雲国府跡 7 附編 山代郷南新造院跡	11	国司館跡の一角で、井戸・溝が出土、山代郷南新造院の調査報告もあり。
埋蔵文化財発掘調査報告書 VII (石台遺跡)	88	昭和63年度に実施した石台遺跡調査の結果をとりまとめた報告書。

D.埋蔵文化財関係

島根県遺跡地図 I (出雲・隠岐編)	93	遺跡地図。出雲・隠岐編。
主要地方道浜田八重可部線特殊改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	91	石見山間部の歴史を解明する上で重要な旧石器時代から江戸時代に及ぶ遺跡が検出された。
薄井原古墳調査報告	91	出雲を代表する片袖型横穴式石室2つを持つ大型古墳の調査報告。復刻版。
勝負遺跡・堂床古墳	98	遺物が多数出土した古墳時代中期の玉作工房跡を含む古墳時代前期から奈良・平安時代までの集落跡。

書籍名	発行年	収録内容
平ラⅡ遺跡・吉佐山根1号墳・穴神横穴墓群	98	石棺に描かれた彩色壁画は本州唯一の事例として注目される。
日脚遺跡	85	5世紀代の須恵器窯跡や縄文早期末の遺物・遺構を中心とした調査報告、石見地方の須恵器編年の指標。
岩屋遺跡・平床Ⅱ遺跡	01	6世紀の石棺出土人骨・導入期の横穴式の石室・奈良時代の平玉製作工房。
熊谷遺跡・要害遺跡	01	中期小型古墳(鎌・鏡)、丘陵を区画する弥生前期の溝、熊谷軍団推定地付近の調査、墨書土器出土。
布志名大谷Ⅰ遺跡(1号墳)	01	古墳時代前期の大型方墳の調査、割竹形木棺ほか5つの埋葬施設。
布志名大谷Ⅲ遺跡	01	新発見の四隅突出型墳丘墓を含む墳墓群の調査。
石見焼関連遺跡調査報告1(飯田A遺跡・長東坊師窯跡)	01	近世から近代の石見焼窯跡。
戸井谷尻遺跡・長老畑遺跡	01	18世紀前半の高殿たたらと19世紀前半の大鍛冶場。
古志本郷遺跡Ⅱ	01	出雲平野の弥生時代から近世までの大型複合遺跡。
石見銀山 妙正寺跡	01	近中世墓標・石塔の詳細調査。
殿淵山遺跡・獅子谷1	02	3時期に亘って営まれた近世の大鍛冶場跡、鞆の羽口が残る鍛冶場も発見。
大津町北遺跡・中野清水遺跡	04	弥生～奈良時代の遺構・遺物を発見 中野清水遺跡においては「塩冶」の墨書須恵器も発見。
五反配遺跡	04	古代出雲歴史博物館建設予定地における調査報告書。弥生から平安時代までの水田開発に関係する遺構、畦畔などを検出。
沖手遺跡	06	中世の集落跡。貿易陶磁・土師器・瓦質土器などが出土。
白枝本郷遺跡・中野清水遺跡(3)	06	弥生時代後期末～古墳時代前期初土器大量出土。奈良時代金属器生産関係遺物。室町時代～江戸時代初めの集落跡。
沖手遺跡・専光寺脇遺跡	08	貿易陶磁を多量に出土した中世の益田平野の大規模集落。(建物跡・墓地などを多数検出)
中祖遺跡・ナメラ迫遺跡	08	奈良・平安時代の礎石建造跡を検出。瓦の分析から熨斗瓦建物であることがあきらかになった。
山持遺跡Vol. 5(6区)	09	縄文時代～江戸時代までの遺物が発見された遺跡。そのうち古代の道路遺構周辺からは、全国的にも類例のない人物像を描いた板絵4点、木簡3点、墨書土器10数点が出土している。特に4号板絵は吉祥天を描いたものと考えられる仏画であり、当時の仏教祭祀の様子を知る上で貴重な資料である。
六重城南遺跡 瀧坂遺跡 鉄穴内遺跡	09	雲南市三刀屋町六重地区に所在する鉄文化に深く関わる遺跡群。六重城南遺跡では特異な鉄製品を周溝に供献した古墳を検出。瀧坂遺跡は古代の製鉄関連遺構と近世以降の屋敷跡。鉄穴内遺跡は古代の鍛冶遺跡で、鍛冶工房3軒と鍛冶炉10基、拝滓場2か所、炭窯などが見つかるとともに、多種多様な鍛冶関連遺物が大量に出土。

書籍名	発行年	収録内容
久城東遺跡・若葉台遺跡・久城西Ⅰ遺跡・久城西Ⅱ遺跡・原浜遺跡	10	益田平野東に広がる久城台地の遺跡群の調査報告。弥生時代・古墳時代の集落を中心とし、石西地域の土師器編年、益田平野をめぐる人間活動の歴史についての論考も所載。
山持遺跡7(6区)	11	朝鮮半島系の楽浪土器がほぼ完形で出土した遺跡の報告書。
高浜Ⅰ遺跡	11	木簡とともに15世紀中葉から16世紀初頭の将棋盤が出土。
廟所古墳・古曾志大塚古墳群・平廻古墳	12	一辺60mを超える大型方墳の調査報告書。
金山古墳・鶴ノ鼻古墳群・北長廻横穴墓	15	益田平野に所在する重要古墳を対象に行った調査報告。石見地方の古墳時代研究に欠かせない基礎資料を多数掲載。金山古墳は5世紀の造り出し付き円墳と判明した発掘成果を収録。石見最大級の群集墳である鶴ノ鼻古墳群について全体測量図を初公開。前方後円墳を含む当古墳群の益田平野における位置づけ等に迫る。石見を代表する横穴墓群「北長廻横穴墓群」の出土土器について未公開資料を含めて掲載。須恵器の精緻な分析をもとに、当横穴墓群の変遷と特徴について考察。
魚見塚古墳・東淵寺古墳	16	出雲を代表する2基の前方後円墳の調査報告。出雲の古墳時代須恵器編年に関する考察と、墳形や埴輪・須恵器からみた両古墳の歴史的な位置づけに関する考察を収録。
E.文化財一般・その他		
石見神楽の創造性に関する研究 (古代文化センター研究論集 第12集)	14	県西部に継承される石見神楽に関する論文集。石見神楽の歴史的な展開と今日的な状況について、8本の論文を収録。
石見銀山の社会と経済-石見銀山歴史文献調査論集-	17	平成29年、世界遺産登録10周年を迎えた石見銀山。登録前から続く地道な調査研究から見えてきた新たな歴史。銀山研究の専門家たちがおくる新たな知見とその魅力がこの1冊に。
文化財(文化財講座特集号)	03	島根県文化財所有者連絡協議会が開催した11回に及ぶ文化財講座の講演収録集。
季刊 文化財(定期刊行物)		(定期刊行物)
加茂岩倉遺跡 ビデオ	05	古代史ファン必見。銅鐸の発見から調査まで全てを収録。